

平成 30 年度 第 4 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 31 年 2 月 14 日 (木) 10 時 00 分～11 時 00 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者 出席 27 名、代理出席 1 名、欠席 1 名、事務局 7 名

出席：川嶋委員、早野委員、大庭委員、仲田委員、小川委員、三須委員、飯田委員、吉井委員、林委員、座古委員、土屋委員、佐瀬委員、石崎委員、相京委員、江畑委員、宮澤委員、岩崎委員※、小林委員、澤田委員、宇野（誠）委員、望月委員、宇野（英）委員、藤井委員、中村委員（市民福祉部長）、青木委員（経済環境部長）、岡澤委員（都市建設部長）、鈴木委員（教育部長）

代理：川俣委員（池田氏）

欠席：小高委員

※：新規委員

事務局：矢野企画政策部長、鈴木企画課長、山本主幹、猪野副課長、森統計調査係長、平野主査、石田主事補

4. 会議次第

1 開 会 【進行：鈴木課長】

・会議成立の報告

委員の過半数の出席（27 名出席）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 岡澤会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介・・・委員名簿

4 議 事 【議長 岡澤会長】

・議事案件 (1)、(4) 石田主事補、(2)、(3) 平野主査より説明

(1) デマンド型乗合タクシー利用実績について (H30. 4-12) 【報告】 資料 1
資料 1 説明用資料

(2) 市内循環バス福岡路線・豊成路線利用実績について (H30. 4-12) 【報告】 資料 2

(3) 市内循環バス福岡路線の車両更新について【報告】 資料 3

(4) 第 2 次東金市総合交通計画の事業進捗について【報告】 資料 4

5. 閉 会

【概要及び今後の課題】

■ 議事

- (1) デマンド型乗合タクシー利用実績について (H30.4-12) (資料 1、資料 1 説明用資料)
今後の課題
予約不成立についての整理
- (2) 市内循環バス福岡路線・豊成路線利用実績について (H30.4-12) (資料 2)
- (3) 市内循環バス福岡路線の車両更新について (資料 3)
- (4) 第 2 次東金市総合交通計画の事業進捗について (資料 4)
- (5) その他

○ デマンド型乗合タクシー利用実績について (H30.4-12)【報告】

資料 1、資料 1 説明用資料

(事務局)

【資料 1、説明用資料 1 について説明】

平成 30 年 4 月～12 月のデマンド型乗合タクシー実績及び平成 29 年度同時期との比較について説明。

(委員)

当日配布資料に記載のある「習慣的利用者」とはどういう意味か。

(事務局)

通院や買物利用のためにほぼ毎日利用している利用者を表している。

(委員)

3 点ほど聞きたいことがある。1 点目についてだが、実際に 1 週間前に予約を取り、当日キャンセルをする利用者の比率について整理できていれば教えてほしい。2 点目だが、通院目的や買物目的という話があったが、利用目的についてアンケート等を行っているのか教えていただきたい。3 点目についてだが、一番最後にある「障害者手帳所持利用者の利用割合は減少している。」の文言の意味をご教示いただきたい。

(事務局)

1 点目についてだが、現状では整理できていない。調査し次回会議で提示したい。2 点目についてだが、利用目的についてのアンケート等は行っていない。ただ、システム上で降車場所は分かるので、そこから利用目的について推測している。3 点目についてだが、各年度利用者数合計値からの障害者手帳所持利用者の割合を年度ごとに比較して減少しているという意味である。

(委員)

概ね理解した。しかし、3 点目で指摘した文章についてはこの資料内で記載すべき内容ではないと考える。

○ 市内循環バス福岡路線・豊成路線利用実績について (H30.4-12)【報告】

資料 2

(事務局)

【資料 2 について説明】

平成 30 年 4 月～12 月の市内循環バス実績及び平成 29 年度同時期との比較について説明。

(委員)

平成 29 年度の比較だが福岡路線は全体的に利用者が増加している。豊成路線については利用者全体でみると増加しているが、無料の方の割合が多くなっている傾向である。ただ、高校生以上の利用者の増加しているため収入面ではカバーできていると感じる。昨年度の資料を確認したが、平成 29 年度は平成 28 年度と比較して 600 人以上利用者が減少している。それが今年度に入って増加に転じた理由が分かればご教示いただきたい。

(事務局)

明確な理由についてはわかってはいませんが、市では広報等で市内循環バスの利用促進の記事掲載や地域でも循環バスの利用促進記事の回覧やアンケート等を行っており、それが着実に利用者の増加に結びついていると考えられる。

○ 市内循環バス福岡路線の車両更新について【報告】

資料3

(事務局)

【資料3について説明】

市内循環バス福岡路線の車両更新についての説明

(委員)

車イスの利用者への対応は運転手がするのか。また、九十九里鐵道と障がい者の利用者への対応等の打ち合わせはしているのか。

(事務局)

対応は運転手が行うこととなっている。車イスの乗降については1回10分から15分ほどかかる予定であり、時間を要することについては車内に張り紙等をして利用者の理解を求めていこうと考えている。

(委員)

きちんと協議をしているようで安心した。また、乗降に時間がかかるとのことだったので、住民への周知の徹底をお願いしたい。

(委員)

障がい者の方は乗車時に障害者手帳の提示は必要なのか。

(事務局)

乗車時に提示の必要がある。

(委員)

国では提示する必要のないICカード等を利用し、さらに簡略化を推進していこうという動きがある。市でも考えていく必要があるのではないかと。また、たまに豊成路線で普段のワンボックス車両とは違うマイクロバスが運行していることがある。そのマイクロバスを常時利用することはできないのか。

(事務局)

ICカードについてだが、今後とも情報収集に努めて、地域の実情に合うのかどうかを循環バス推進委員会で検討していければと考えている。マイクロバスの件だが、現在通常時に運行している車両の修理中のために代車として運行している状況である。修理が完了次第、元の車両に戻る予定である。よろしくをお願いしたい。

(委員)

新車両の車イスの乗降について乗務員の資格等は必要ないのか。

(事務局)

乗降時のパワーリフトの操作について資格等は必要ない。また納車の時、三菱ふそうの担当者から九十九里鐵道の社員にパワーリフトの操作を教示していただき、技術習得に努めて

いる。

(委員)

UD タクシーの場合は2級ヘルパー等が在籍していないと運行しないこととなっているがバスは大丈夫なのか。

(事務局)

大丈夫である。

(委員)

UD タクシーの導入にあたっては有資格者が3人以上いなければ補助金を利用しての導入はできなかった。バスはそのような縛りは無いという認識でよろしいか。

(事務局)

車両購入や陸運局の登録の際には資格について求められたことはなかった。

(委員)

バスのリフトの操作については資格不要である。UD タクシーの例だが、研修を手厚く行っている団体に優先的に補助したいという考えがあったため、そのような補助要件になったと思われる。

(委員)

乗車の際に抱える等の身体に直接触れる補助については介護の資格が必要となる。しかし、車イスを押す程度では必要はない。現在、車イスで月半分以上バス通勤している利用者もあり、乗車の際は運転手が補助している現状もある。

○ 第2次東金市総合交通計画の事業進捗について【報告】

資料4

(事務局)

【資料4について説明】

第2次東金市総合交通計画の事業進捗状況についての説明

(委員)

今後の取組み予定として、当日予約キャンセル数の抑制とあるが、説明用資料1では当日予約成立数が増加しているというデータがあった。これはどういうことかご教示いただきたい。

(事務局)

当日だけでなく予約キャンセル全体の削減をしていきたいといった意図で記載した。

(委員)

事業7について質問だが、これは事務局内のみの検討の結果なのか、もしくは市内全体の医療機関と協議をした結果なのかご教示いただきたい。

(事務局)

企画課内部のみの判断である。

(委員)

病院の方から混乗をお願いしたいという話を通院バス利用者から聞いている。今後、いくつかの事業所と混乗について具体的に協議をしてはいかがか。

(事務局)

民間バス路線と路線重複している箇所については可能性が低いと考えている。路線重複していない箇所を運行するのであれば具体的な協議をしていきたいと考えている。今後、路線変更などの状況を随時確認し、可能性があれば関係機関と協議をしていきたい。

(委員)

他の自治体でも同様な事例がある。特に病院と買物の送迎バスに関しては、集客のため住民が多い場所を運行する傾向にあり、基本的に路線バスと路線重複する傾向にある。そのため送迎バス等に行政が支援をすると、民間バス事業者の圧迫に繋がることになる。混乗については、交通空白地域内で運行している場合にのみ検討をするべきである。また、北海道だが、大学病院、民間路線バス、地域サービスで路線競合が起きていたが、それぞれが協力し路線を1つに集約したという事例もある。ただ、これは条件が揃っていたから実施できた珍しい事例である。東金市では民間バスと競合している地域では検討しにくいと思われる。また、東金市はデマンドタクシーを市内全域運行しているので、交通空白地域は基本的に存在しない状態となっていることも考慮に入れて検討することが必要である。この件については、慎重に考えて進めていただきたい。

【その他】

(委員)

循環バスの新車両の件だが、車体については従来通りマグネット等を貼り付けていく方針となるのか。他の地域ではバスを盛り上げるため、ラッピング等を実施している自治体もある。金銭的な面もあるので地元と話し合っただけで考えていただきたい。

(事務局)

新車両についても現行と同じくマグネットを貼り付ける予定である。また、福岡地区の保育所の園外保育に合わせて、保育所の児童が書いた塗り絵などを掲示して循環バスを盛り上げていきたいと考えている。

(委員)

豊成路線に窓枠広告を掲載しているが、マグネットにして車体外側に掲載しても良いのか。

(事務局)

県条例の許可を受ければ車体外側の広告掲載も可能である。